

<吉田地区>

	意見	回答	担当 委員会
1	<豊かな暮らしラボトリーについて> 豊かな暮らしラボトリーとは、どのような団体でどのような仕組みで運営しているのか。	小・中・高校でカタリバを開催。地域の人子どもたちと語り合い、地域の魅力を伝える事業を展開している。 また、中・高生のサードプレイス、(学校生活だけでなく)居場所の提供。 中・高生だけでなく、若手社会人も同年代が語り合える居場所を求めている。 ユタラボ職員と大学生インターンで運営している。	総務文教
2	<議会報告会について> 議会報告会を各地区で開催しているが、参加者が少ない。告知端末で放送しているが、回覧板等で周知したらどうか。何か方法はないのか。	検討させていただく。	広聴広報
3	<若者世代の実情の把握について> 夕方スーパー等で、若者世代の家族を見かける。もっと若者の声を聴き、どうしたら複数子どもを産むことに繋がるのか、意見を聴くべき。議員として、積極的に若者の集まる場所に出向き、実情を把握して欲しい。	若者世代の声を聴く方法等についての検討を引き続きさせていただく。	広聴広報
4	<常任委員会の活動について> 各委員会の説明を受けたが、委員会として何をしているのか、何がしたいのかわからない。	これまで議会として提言に繋げる形が今まで多くなかった。言いっぱなしで終わるのでなく、今回は議員での議論、他団体との意見交換会、地域の声を聴きながら、市長への提言へ繋げていく。議会・議員活動の見える化を意識して、議会報告会を開催している。	広聴広報
5	<直營業務の民間委託について> 市の仕事として、公務員でなくても出来る仕事がある。民間委託して地域の仕事を増やせば、若者定住に繋がるのではないか。	意見として受け止める。	総務文教
6	<共用車・公用車の台数について> 市の共用車・公用車が多いのではないか。 無駄があるのでは。	議会では、議長車を廃止している。 ゴミ収集車等は民間委託でずいぶん減っている。共用車は軽バンをリース契約(メンテナンス料込み)し、徐々に改革してきている。	総務文教
7	<ゴミの直接収集について> ゴミ収集について、地域のゴミステーション迄出るのに困難な家庭に対し、直接家庭への収集サービスがあると聞いたがいかがか。	市担当課に連絡し、状況を確認した上で認定されれば、そのようなサービスもある。	福祉環境
8	<部活動の地域移行について> 部活動の地域移行について、議会ではどのようにまとめているか。	今回はまず、PTA役員の意見を聴いた。今の段階では、国や県の動向が確定していないので、議論と意見収集のみとなった。来たる時期に備えて準備中である。	総務文教
9	<部活動の少子化対策について> 少子化問題がかなり影響している。学校によっては人数不足で部活動が成立しない。海外の事例、国・県・市・地域における議論が必要ではないか。	中体連や高体連との問題もある。そういった仕組みなどの見直しも含め、地域移行するのか議論していく。	総務文教
10	<通学路の危険箇所について> 通学路の危険箇所について、どうするのがさっぱり分からない。	通学路危険箇所の洗い出しをし、特に危険な箇所については対策を実施している。その他協議進行中である。	総務文教

11	<p><登下校時の「ながら見守り」について> 子どもたちの登下校時に「ながら見守り」を推奨されるが、学校の教えの中で知らない人から声を掛けられたときの対応があるので、不審者として通報される可能性があり、積極的に「ながら見守り」を実践できない。</p>	<p>安全面での教育と地域の大人としての係わり方にギャップがある。 今後の課題、地域の声として関係機関に伝える。 【執行部通知：学校教育課】</p>	総務文教
----	---	--	------